

No. 78 >>> Contents

●トピックス

- G7 宮崎農業大臣会合 「畳と絹で伝える和 문화の魅力」をテーマに和室及び着物を各国へ PR
 農林水産省農産局果樹・茶グループ———— ①
- 「江戸で養蚕の会」
 江戸で養蚕の会 株式会社 龍工房 代表取締役 福田 隆———— ②

●研究・技術情報

- シルクの品質と品種を科学的に知るために
 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
 高度分析研究センター 梶原英之———— ④

●海外情報

- 「ブラジル養蚕の現状」..... ブラタク製糸株式会社 水野俊介———— ⑧

●蚕糸・絹業団体情報

- 「富岡製糸場世界遺産伝道師協会の紹介」
 富岡製糸場世界遺産伝道師協会 副会長 笠原 実———— ⑩

●蚕糸偉人の足跡を訪ねる

- 第5回「今井五介」
 岡谷蚕糸博物館 —シルクファクトおかや— 館長 高林千幸———— ⑫

●「カイコを育てよう！2023」のお知らせ

- 全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン—
 一般財団法人大日本蚕糸会———— ⑮

●イベント情報

●一般財団法人大日本蚕糸会から

- 令和5年度貞明皇后研究助成採択一覧（7件）———— ②②
- 2023年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ———— ②⑤
- 純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 ———— ②⑨
- 活動日誌 ———— ③⑦

●蚕糸絹関係博物館一覧

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

●統計資料

（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）———— ④②

G7 宮崎農業大臣会合

「豊と絹で伝える和文化の魅力」をテーマに和室及び着物を各国へPR

農林水産省農産局果樹・茶グループ

令和5年4月21日から23日にかけて、宮崎県宮崎市において、「G7 宮崎農業大臣会合」が開催されました。本会合においては、今後の農業・食料政策の方向性等が検討される中、会場フロアでは、国内の農林水産業の魅力を発信すべく、35のブースが設置されました。当グループは、所管品目である繭・生糸及びいぐさ・畳表に関連し、国産畳表を用いた和室の設置と、純国産絹製品の展示を行い、各国の関係者へ向けて「和の文化」の魅力を発信しました。

展示ブースでは、実際に和室に腰掛けて心地よい畳の香りを体感していただくとともに、ミニ畳やまゆ人形を配布し実際に触れていただくことで、畳や絹製品をより身近に感じ、来場者の記憶に残る展示となるよう考案しました。

今回の展示にご協力いただいた宮崎県綾町の「綾の手紬染織工房」は、日本の在来品種である小石丸を飼育し、養蚕から製糸、染色、機織りまでを一貫して手作業で行うなど、独自の技術により、高品質な純国産絹製品を製作されています。着物・反物の他、養蚕の様子が見える書籍や、小石丸の繭や生糸、「藍染め」、「貝紫染め」を施した絹糸も展示し、養蚕から着物になるまでのすべての過程をご来場者の方々にご覧いただくことで、改めて日本の養蚕業を知っていただくことができました。



会場風景

また、和室の畳は、いぐさ・畳表の生産量日本一である熊本県産のいぐさ・畳表を用いており、実際に座って畳の手触りを感じていただくことで、優良品種のいぐさをういて高度な製織技術により織られた畳表の魅力を知っていただきました。

今回の展示をとおして、海外においても「和の文化は美しい」と感じていただけることを実感し、改めて、日本文化の象徴となる伝統産業を継承していかなければならないと感じました。当グループでは、古くから日本人の生活や文化を支えてきた伝統的な品目を多数所管しておりますので、今後も、更なる伝統産業の発展に向けて努めていきたいと考えております。

「江戸で養蚕の会」

江戸で養蚕の会

株式会社 龍工房
代表取締役 福田 隆

「江戸で養蚕の会」は、日本の中心地である江戸日本橋で養蚕に関する幅広い体験教育を実施することで養蚕文化を発信し、日本の絹産業への興味の喚起、復興への基盤づくりをすることに寄与することを目的に、中央区日本橋の地で、祖父の時代（明治）より5代135年に渡り、江戸組紐伝統技術を継承する職人集団である株式会社龍工房が中心となり組織されています。組紐は、呉服の和装小物となる帯締・羽織紐として絹糸を材料として製造いたしますが、龍工房では、純国産絹糸を逸品物や高級品の材料とともに値頃の無地組紐にも使用し、消費者への普及活動も取り組んでまいりました。まずは、純国産絹糸を知っていただくことが生産への第一歩となると考え、10年前より日本各地の百貨店を中心に開催された宝絹展で、アピール活動・純国産糸組紐体験会に参加してまいりました。

自身も東京都伝統工芸士（東京マイスター・「現代の名工」・令和5年度黄綬褒章）として、伝統技術の普及活動と同時に純国産絹糸のアピールは責務だと考えておりま



桑の植樹

す。6年前より小学生・中学生・大学での伝統工芸の授業の依頼を数多く受け講話をさせていただいております。未来に向けて、特に小学生を中心として「目の輝く未来ある子供達」に日本の絹の文化・養蚕についての語りは幼少期に知識・意識を高めていく大事なことと思います。

「江戸で養蚕の会」は、緑が少なく高層ビルが建ち並ぶお江戸日本橋だからこそ東京都中央区内の16小学校の校庭を利用させていただき桑の木を「植栽」することからはじめ桑の葉を育て養蚕から絹糸・組紐の製作体験まで通して認知と普及を目指した

いと思っております。令和5年4月からの事業として中央区役所の後援と中央区文化・国際交流振興協会のサポート、(一財)大日本蚕糸会からのご協力を支えとして、一連の活動の様子を中央区の全小学校と父兄達へYouTubeで配信し、認知度を高め、この活動が都内23区に普及していくことを視野に入れた活動をしていきたいと思っております。実施の概要といたしましては、日本橋小学校で5月中旬より半年間の授業として3年生全生徒と取り組んでまいります。①桑苗木を校庭の高台と施設4階屋上の農園畑に植樹します。②6月に卵から掃立1齢～5齢(カイコ)と育つ過程を学びます。③繭になるまでの一生をエサ(桑)

を与えながらの観察をします。④秋には繭から製糸・練糸・染織をして組紐の材料となる糸づくりを弊社工房にて。染織は小学生の手で落葉拾いした草木で染を行い、江戸組紐を組み上げます。⑤この全体の様子はYouTubeと記録の画像を発表していきます。特に11月から1月までに小学校行事活動の発表の場を設け、中央区区民・都内に周知する場面を考えております。この活動を通じて養蚕の知識と絹糸の美しさ・素晴らしさを多くの方々への理解に繋がればと願っております。最後に、この江戸で養蚕の会に関わっていただいております皆様方に御礼と感謝の念でいっぱいでございます。



植樹に集まった児童達

シルクの品質と品種を科学的に知るために

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
高度分析研究センター
梶原英之

はじめに

日本でせっかく開発された高級イチゴやブドウの品種が、海外に持ち出され、安い値段で逆輸入されているという報道を耳にしたことがあるかもしれません。イチゴなどには遺伝子が残されていますので、それを最新の遺伝子検査技術で調べればどの品種かわかります。しかし、絹の場合はどうでしょうか。絹は遺伝子検査をしたくてもDNAは全く残されていません。絹はフィブロインというタンパク質でできています。それを分析することによって、品種を知る技術を開発しましたので紹介します¹⁾。

絹タンパク質について

カイコはセリシンとフィブロインからなる糸を吐いて繭を作ります。繭は品種によって様々な形をしています（図1）。中に

は黄色やオレンジなどの色がついているものもあります。専門家ならば、繭を見ただけでどの品種かわかるかもしれません。しかし、糸になってしまうと確信を持って言えるでしょうか。

繭はお湯の中で煮て糸をとります。いわゆる煮繭です。これを束ねたものが一般に流通します。煮繭で一部のセリシンは失われますが、大部分はフィブロインを覆うような形になります。目的に応じて糸を精錬します。炭酸ナトリウムで処理すると、さらにセリシンが一部除去されたものができます。手でさわるとまだ少しごわごわした感じです。さらにマルセル石鹼を使って完全にセリシンを取り去るとフィブロインだけになります。このフィブロインがシルクとして着物などに使われます。

セリシンもフィブロインも実はタンパク



図1 さまざまな色や形をした繭

質です。セリシンは水に溶けますが、フィブロインは全く溶けません。だから、繊維として使われるのですが、いざ分析する段になると水に溶けないという性質は非常に困りものです。そこで、酸を使って部分的に断片化する方法を開発しました¹⁾。絹はもともとアルカリ性には強いが酸には弱いということをご存知の方も多いでしょう。間違ってもシルクを酸性洗剤で洗うのはNGです。その酸を使って分析できる形にしました。

使用した方法は断片化した絹タンパク質を質量分析で測定するというものです。これはノーベル賞を受賞された田中博士が開発された方法の応用です。遺伝子検査よりもずっと早く安くできるということで、既に感染症の臨床検査に使われています（図2）。病原菌が持つ遺伝子はそれぞれ違いますから、遺伝子に基づいて作られるタンパク質も当然違います。もし、絹をコード

する遺伝子が違えば、それに基づいて作られる絹タンパク質のセリシンやフィブロインも違うはずです。

きっかけ

絹タンパク質が質量分析で簡単にピークとして検出できるということがわかったのは全くの偶然です。カイコに寄生する病原菌を調べるために、感染症診断で使われる方法を試していました。その時、少し場所が余ったので黄色い繭も一緒に分析してみました。繭の色に関係する成分がピークとして出ればと思っていましたが、全く違うところにピークが出てきました。どうもこれはタンパク質で酸によって部分分解したものだということがわかりました。さらに調べてみると、先ほど述べた生繭を煮繭しシルクにする精練過程で変化することや品種間差が見られるということもわかりました（図3）。これを使えば、品質のチェッ

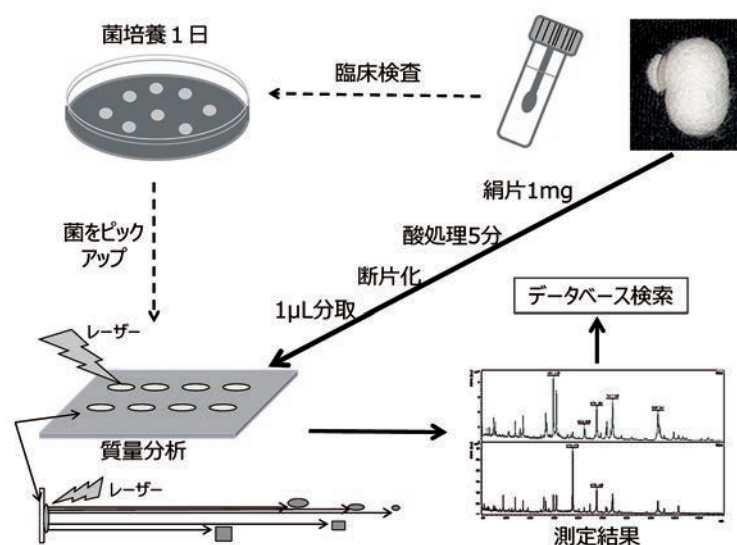


図2 質量分析で繭やシルクの品質や品種を調べる方法の概略

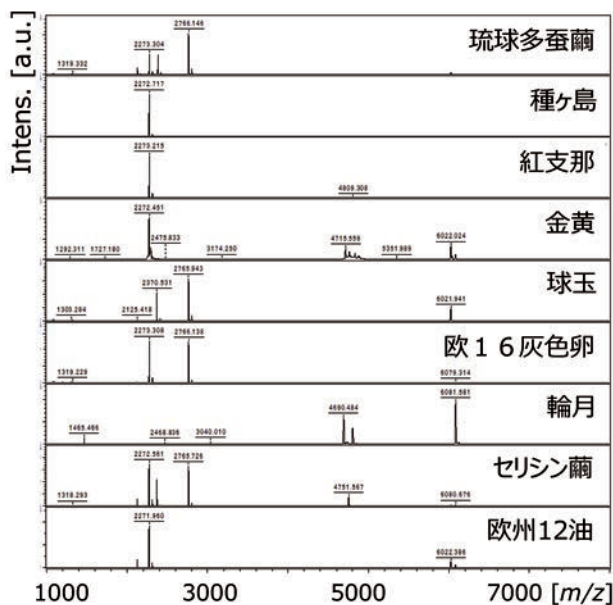


図3 質量分析で見られた品種間差

クや国産と外国産の判別ができるかもしれないと考えました。

さらに興味深かったのは、古いものと新しいものを比較するとピークが少しずつ変化していたことです（図4）。既に述べたように、絹はフィブロインなどのタンパク質で作られています。タンパク質は時間が経つと空気中の酸素によって酸化されることがわかっています。つまり、酸素がフィブロインの一部に結合した分だけピークが重い方に動いたというわけです。絹織物は脱酸素剤と一緒に保存すべきという理由はここにあります。裏を返せば、その絹がいつ作られたものかわかる可能性があるということです。それには酸化過程を詳しく調べる必要があります。生繭、煮繭、さらにはシルクになった状態では酸化のされ具合も違います。正確に何年前のものということを知るにはさらなる研究が必要です。

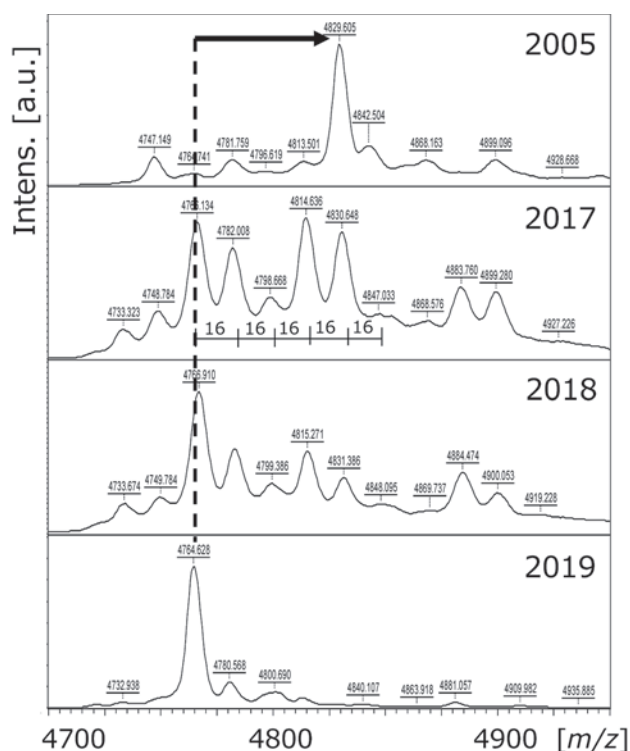


図4 新しい絹と古い絹でのピークの違い

データベース

水に溶けないので解析不能とされていた絹ですが、実は簡単な方法で突破口が開けてきました。品種を知るにはどうしたら良いのでしょうか。既に品種がわかっているものを片っ端から調べてデータベースを作り、それと比べればできます。農研機構には遺伝資源として収集維持している品種が沢山ありますし、九州大学にはカイコ遺伝学で使われた突然変異体があります。また、（一財）大日本蚕糸会や群馬県蚕糸技術センターには実用品種がストックされています。それらを集めて、生繭からシルクになるまでの5段階の精練過程の絹を調べました。一方で、分析法の改良もしました。それらの分析データを一か所に集めてデータ

ベースを作ったところです。まだ整理されていませんが、300 品種くらいは網羅できていると思います。野外採集した 20 種類ほどの繭を作る蛾や蜂も調べてあります。ただ、残念なのは正確な品種名がわかる外国の実用品種の繭を入手できなかったことです。データベースを使えば最高品質の国産シルクを科学的に認証できると期待しています。

言い忘れましたが、ここで紹介した方法の良いところは 5-10 分程度で分析が終わることです。質量分析装置は高価ですが、臨床検査室にはあります。プログラムを組めば自動で分析しコンピュータ検索もしてくれます。1mm 角の絹で分析できますので、試薬だけなら 1 円もかかっていないと思います。

将来に向けて

絹でもまだまだ調べることは沢山残っています。既に幾つかあげましたが、外国産の品種を調べたいと思っていますし、時間が経つとどうシルクが変化するのか詳しく知りたいと思います。もし、フィブロインで酸化する特定のアミノ酸がわかれば、ゲノム編集を使って酸化しないものに変えることができるはずです。ずっと新しいままのシルクが作れるかもしれません。

(一財) 大日本蚕糸会からの研究助成は終わりましたが、この方法は別の方向にも発展しつつあります。獣毛、羽毛、角、皮革などにもこの方法が応用できることがわ

かってきました²⁾。羊毛についてはここで述べた方法とは違いますが、国際標準規格 (ISO) によってどのように検査するのかが決まっています。絹についてもそのような日本発の ISO 規格ができれば、国産絹の地位向上につながるのではないのでしょうか。感染症のうち細菌によるものは今まで述べた質量分析法で診断できますが、色々な理由からウイルスはできませんでした。この改良法はウイルスにも適用できました。カイコに感染するウイルスも含みます。絹タンパク質とともに、動物性繊維、さらにウイルス診断に向けた研究をする方策を模索しています。

文献：

- 1) 特開 2021-192020 絹糸虫由来の絹の由来種、品種及び／又は品質を同定する方法及びシステム．
- 2) 特開 2022-174882 動物性素材の由来種、品種及び／又は品質を試験する方法及びシステム．

「ブラジル養蚕の現状」

ブラタク製糸株式会社

水野俊介

はじめに

ブラジルでは 1970 年代後半まで、日本から進出した企業も含め 10 数社の製糸会社が操業していた。しかし 1980 年代から徐々に撤退していき、2010 年にはブラタク製糸株式会社（以下ブラタク）一社を残すのみとなった。ブラタクは製糸部門だけでなく、蚕種製造からはじまり、近年では直営農場における繭生産にも力を入れている。今回このような機会をいただいたので、ブラタクの原料部を担当する者のひとりとしてブラジルの養蚕について紹介させていただきたい。

ブラジル養蚕業の規模と分布

ブラジルの養蚕農家はサンパウロ州、パラナ州およびマットグロッソドスル州の 3 州に分布している。（図 1）これはブラタクの前身ブラジル拓殖組合の入植地がサンパウロ州バストス市であった為であり、その後近隣州へと広がっていった。現在の養蚕の中心はパラナ州であり、全繭生産量の 85% を占めている。養蚕農家は全国で 2,000 軒弱、繭生産量はブラジル全体で約 3,000t で推移していたが、2019 年以降低下し、2021 年蚕期では 1,700 t となった。霜害、干ばつ等の天候不順やその他の原因による蚕作被害、農村から都市への人口移動、後継ぎ問題等複

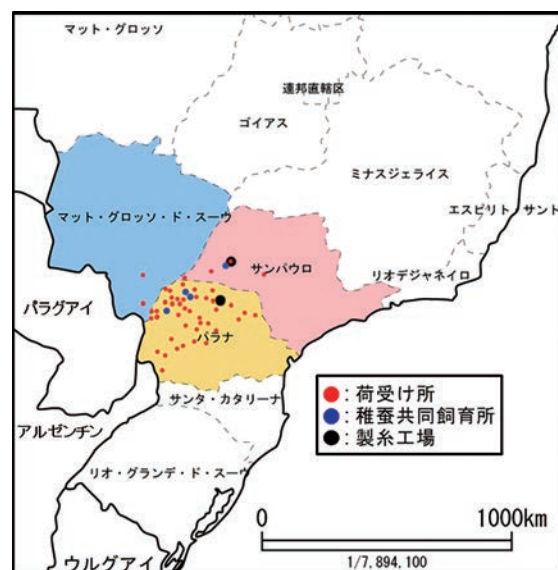


図 1 ブラジル南東部におけるブラタク社施設の配置

数の原因によって養蚕農家は減少している。

上記 3 州は温暖な気候であり、冬に桑が落葉しないので原理的には一年中養蚕が可能だが、夜間平均最低気温が 15℃ 以下となる 6 月下旬から 8 月上旬まで飼育は行われない。それを除いた約 10 ヶ月が蚕期となり、農家は 4～5 週間のサイクルで飼育を行うため、1 年の飼育回数は平均 8 回、多い場合で 10 回になる。農家の規模は、1 回に 15 箱（1 箱 33,000 粒）を飼育するブラタク直営農場から、1 箱のみ飼育して他の作物と兼業する農家まで様々である。

ブラジル養蚕業の概要、蚕種から繭買いまで

農家で飼育されるカイコには、1970 年代に日本から持ち込まれた系統が現在



図2 株下げされた桑園の様子

でも使用している。単繭重 2.0g、繭層歩合 23%、繭糸繊度 2.8 デニール、繭糸長 1,200m 程度である。真夏の日中は 40℃を超えるブラジルでの飼育環境に 1 品種で対応するために、余裕を持たせた形質である。

このカイコの卵、つまり蚕種は春と秋の年 2 期製造される。冷蔵保護した後、冷蔵浸酸種および人工越冬種として使用することで、ブラジルの長い蚕期に対応している。蚕種には人工ふ化処理が施された後、4 箇所ある自社運営の稚蚕共同飼育所に送られ、桑葉育で 2 齢まで飼育された後、3 齢で農家に配蚕される。

前述のとおり養蚕農家は 3 州に散在するので、農家の多い地域に荷受け所を配置し、ブラタクの指導員を配属して農家の指導及び配蚕の日程調整等を行っている。繭買いも各荷受け所で行われ、各農家の繭調査成績に従い現金が支払われる。

ブラジル養蚕業の特徴

ブラジル蚕糸業の形成には日本からの移民が大きな役割を担ったため、その養蚕技術の多くは日本から導入された。だがブラジルの気候風土など現地の事情に合わせて



図3 電動化された自然上簇作業

変化した物もある。

その一つが桑園管理である。株下げをトラクターの芝刈り機によって行い、地面すれすれの根刈り仕立てとする。(図 2) この乱暴にも見える扱いによってか、ブラジルの桑園は約 10 年のサイクルで改植を繰り返すことになる。改植も簡素化されており、古条を約 30cm に裁断したものを耕した土地に挿し木していくだけで、接ぎ木等の育苗は行われぬ。その代わり活着率に優れたタイ国由来の桑品種等が採用されている。

もう一つが上簇作業である。組み立てたボール紙回転簇を飼育蚕座に直接乗せる自然上簇が採用されており、条払いを行う農家は存在しない。上簇室も無いので、簇は蚕座の上に吊り下げられる。現在では簇の昇降を電動化するなど、2010 年代以降機械化が進められている。(図 3)

結び

ブラジルの養蚕は主に日本の技術を導入して発展してきた。現在はブラジルの環境に適応し、機械化など省力化に力を入れている。今後も省力化と繭質を両立させていく必要があるだろう。

「富岡製糸場世界遺産伝道師協会の紹介」

富岡製糸場世界遺産伝道師協会

副会長 笠原 実

はじめに

2014（平成 26）年に「富岡製糸場と絹産業遺産群」がユネスコの世界文化遺産に登録されましたが、富岡製糸場世界遺産伝道師協会（以下「伝道師協会」）は 2004 年の結成当初より世界遺産登録を目指した県民運動の最前線で活動を積み重ね、世界遺産登録以後も継続した活動を行っています。

活動開始から世界遺産候補まで

2003（平成 15）年 8 月、群馬県知事が富岡製糸場を世界遺産にする研究プロジェクトを発表しました。世界遺産登録までには長い道のりが予想される中、県では県民参加型の登録推進を目指して翌年 7 月に富岡製糸場世界遺産伝道師養成講座を開催しました。翌 8 月に講座修了生が伝道師協会を設立し、県民による世界遺産登録運動の先駆けとなる活動を開始しました。（初年度会員数は 115 名）

結成当初はまさに“零”からのスタートで「世界遺産になりっこない！」との声や県民の認識が低い中での活動となりましたが、2007 年 1 月に 10 資産で構成する「富岡製糸場と絹産業遺産群～日本産業革命の原点～」の世界遺産が暫定リスト入りしたことで、県民の意識転換の契機となり活動

の追い風となりました。

これを機に、伝道師協会ではきめ細やかな活動展開に必要な組織体制を整え、県内各地での世界遺産登録運動を急速に拡大・浸透を図りました。

各伝道師は自分が暮らす地域で P R 活動の場を開拓し、地域イベントに積極的に進出するなど広範な活動やブログによる情報発信も始めます。また、首都圏をはじめとする観光 P R を兼ねた活動に加え、構成資産のある地元市民団体等と連携した『シルクカントリーぐんま連絡協議会』を設立し、同協議会主催によるイオンモール高崎での「シルクカントリーぐんま世界遺産キャンペーン」も毎年の定期イベントとして実施しました。



【シルクカントリーぐんま
世界遺産キャンペーンでの活動風景】

一方、世界遺産候補に向けた公的機関による作業は進み、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産は精選の結果、富岡製糸場・田島弥平旧宅・高山社跡・荒船風穴の4資産により確定しました。

いざ、世界遺産登録へ！

2012（平成24）年7月に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産候補に決定し、加えて、『ぐんま絹遺産』の活用により、地域に根ざした絹遺産を伝える活動も展開します。

この頃より活動は盛況を極め、会員266名による年間活動回数は300回（活動延べ人数は約1,500人以上）を超えるなど、ほぼ年中無休での活動となりました。

2014年6月にカタール国ドーハで開催の世界遺産委員会で念願の世界遺産登録が決定し、12月には富岡製糸場の主要建物3棟が国宝に指定されました。

世界遺産効果はすさまじく、富岡製糸場の入場者数は登録前年度の約31万人から登録年度は約133万人と驚異的な増加を招きましたが、世界遺産登録に沸く“お祝いムード”の中でも伝道師協会是对話による地道な活動を継続し、この年の普及啓発活動数は331回に及びました。

絹文化を伝える

世界遺産登録の翌年には伝道師協会のこれまでの活動が認められ、「サントリー地域文化賞」をはじめ各種の表彰を受けました。

また、この年創設の『日本遺産』に「かかあ天下一ぐんまの絹物語ー」が認定されたことで、『世界遺産』・『ぐんま絹遺産』・『日本

遺産』からなる絹遺産の伝承体系が揃います。

県内での所謂“世界遺産ブーム”が徐々に落ち着きを取り戻す中、伝道師協会では世界遺産としての価値を伝える活動に加え、調査研究活動も進めました。2017（平成29）年に県内各地に残る「蚕神」に関連した総合調査を実施し、その成果は300頁となる報告書『群馬の蚕神』にまとめ、発行しました。

2020年からは新型コロナウイルスの感染拡大によるイベント活動の中止など大きな影響を受けながらも活動再開への模索が続きましたが、講話や座繰り体験など通して絹文化を伝える「学校キャラバン」は訪問校の意向を踏まえつつ可能な範囲で実施しました。



【学校キャラバンでの座繰り体験指導】

新型コロナ禍で自粛した社会活動が徐々に復活する時期を迎え、伝道師協会の活動は世界遺産登録で終わることなく、会員の更なる研鑽を深めつつ“絹文化”の価値や意義を伝える活動を継続しています。

【富岡製糸場世界遺産伝道師協会ブログ】

<https://blog.goo.ne.jp/whtomioka>

第5回「今井五介」

岡谷蚕糸博物館 ―シルクファクトおかや―

館長 高林千幸

はじめに

わが国一の生糸生産量を誇った製糸企業、片倉製糸の今井五介（安政6年（1859）―昭和21年（1946）, 写真1）は、大正期に蚕の一代交雑種の普及に尽力するとともに、製糸においては繰糸機の革命ともいふべき、多条繰糸機を開発・普及させました。そして、戦前、五介は自動繰糸機の開発を強力に進め、それが礎となって戦後、プリンス自動車、ニッサン、恵南、郡是らによって自動繰糸機が実用化されるようになります。五介は時代の節々で、業界の進む道を方向付ける大きな仕事を成し遂げたのです。

また、蚕糸技術の開発の他に経営者・指導者としての力をいかに発揮し、経済界や地域の発展に力を惜しまなかった人でもありました。

1. 今井五介の青年期

五介は、安政6年（1859）11月15日に諏訪郡川岸村の片倉市助の三男として誕生しました。その年は奇しくも横浜港が開港し、欧州に生糸が輸出され始めた年でした。兄弟は長兄に初代片倉兼太郎、次兄に光治、そして五介、弟に佐一（二代片倉兼太郎）の4兄弟で、この4人と従兄弟らの



写真1 晩年の今井五介

結束が、片倉家の発展の原動力となりました。父市助は、明治6年（1873）に自宅前の小屋で10人挽きの座繰り製糸を始め、それを継いだ兼太郎が明治11年（1878）に32人繰り諏訪式繰糸機（座繰機）による垣外製糸場を創設しました。五介は、明治10年、18歳の時に諏訪郡平野村（現岡谷市）の今井太郎家の養子となり、今井姓を継ぐのでした。

五介は、明治18年（1895）、27歳の時に東京本郷の原要義塾（文京区本郷）へ遊学し、明治19年6月、28歳の時に農商務省農務局蚕病試験場（後の東京高等蚕糸

学校)に入学、同年8月に蚕の微粒子病検査法を取得します。この蚕病試験場で学んだことが、後に述べる蚕の一代交雑種を普及させる大きな原動力になったものと思料されます。

そして、同19年10月30日に横浜港を出航し、約3年9ヶ月の間、米国(サンフランシスコ、シアトル等)に滞在し見聞を広めました(今井五介翁傳,1949)。

2. 松本片倉清水製絲場へ

片倉製糸は、明治23年(1890)6月、岡谷から松本に進出し、「松本片倉清水製絲場」を設立しました。五介は、米国シアトルで父市助の病気の報を受け、明治23年8月に帰国し、9月に松本片倉清水製絲場の工場長に就任します。この時、五介は32歳でした。

彼は、米国からの帰朝後、モンペに似た雪袴を着けて、職員に交じって労務を行い、自ら仕事の先達となって働きました。その製絲場は当初48釜の小工場に過ぎませんでしたが、明治32年には346釜となり、「片倉組松本製絲所」と改称しました(片倉製絲紡績株式会社二十年誌,1941)。

3. 蚕の一代交雑種の普及

明治39年(1906)に東京帝国大学の実験遺伝学の権威、外山亀太郎は、日本種、中国種、欧州種の間で多くの交配実験を行い、メンデルの法則が動物(昆虫)においても成立することを世界で初めて証明しました(シルクレポート No.76 2023年1月号 第3回「外山亀太郎」参照)。こうし

た根拠に基づいた成果により、明治44年(1911)に農商務省原蚕種製造所(後の農林省蚕糸試験場)が発足し、その3年後の原蚕種配布を目標に品種試験が開始され、その確たる優秀性が確認されました。しかしながら、一代交雑種の実用化を懸念し、その飼育を躊躇していた蚕種家が多くいました。

そこで、五介は、一代交雑種の製造を決意し、大正3年10月今井五介を筆頭に6名で片倉の資本による「合資会社大日本一代交配蠶種普及團」を結成し、一代交雑種の普及を始めました(本邦に於ける一代交雑蚕種の発祥史,1928)。

片倉組でこの事業を行うに当たり、社内では異論・反論が噴出しました。大反対に遭う中で一代交雑種の有利性や失敗したら誰が責任を取るのかという議論の中で、そうなった場合の責任は総て五介自らが責任を取るということで、社内を説得し始めた事業でした。その確固たる信念は、五介が外山亀太郎の研究成果を十分理解していたこと、それまで自らが普及活動に積極的に取り組んできたことの表れと思われます。まさに先をみた一大決断だったのです。

4. 多条繰糸機の普及

五介の先を見る目は蚕種改良のみならず、高品質生糸を繰製する多条繰糸機の開発・実用化に力を注ぎます。昭和2年(1927)、五介は発明家御法川直三郎^{みのりかわなおざぶろう}とともに、それまでの諏訪式繰糸機の発想とは全く異なる、逆転の発想ともいえるべき御法川式多条繰糸機の開発に尽力します。

それまでの諏訪式繰糸機は高速で、熱湯で繭を煮ながら浮き繰りで繰糸を行う方法でしたが、多条繰糸機は煮繭を施した繭を沈繰りあるいは半沈状態で、低温の湯から、ゆっくり糸を繰り取るという、すべてが「逆転の発想」ともいうべきものでした(写真2)。

この今井五介の英断と実行力により、御法川式多条繰糸機で作られた生糸がアメリカへ輸出されると、絹業者からは、高級生糸「ワンダフル・ダイヤモンド・グランド・ダブルエキストラ」と格付けられ、アメリカへの輸出が加速しました(御法川直三郎自傳,1933)。

この御法川式多条繰糸機は繰糸機の革命ともいえるもので、これを契機に、片倉を始めとし、織田式・半田式・増澤式などの数々の多条繰糸機が開発され、全国へ普及し製糸業は大きく転換し発展するのでした(片倉工業株式会社三十年誌,1951)。

5. 自動繰糸機の開発

昭和7年(1932)、五介の強いリーダーシップのもと、大阪の辻村研究所の辻村秀次郎が開発した定繊度感知器「デニラー」の実用化に力を注ぎ、これを用いた自動繰糸機が昭和15年に完成し、片倉式K2型自動繰糸機が片倉製絲紡績株式会社大宮工場で稼動しました(製糸技術の保存事業シリーズ 片倉K8型自動繰糸機,1933)。戦後、片倉の「デニラー」とは形態が異なる接触摩擦式の蚕試式繊度感知器が開発され、ニッサン式、恵南式、グンゼ式の自動繰糸機の開発へと繋がっていきました。



写真2 御法川式多条繰糸機

彼は、その時代、時代にこの先どのようなものが求められるのかという先を見極め、その道の専門家を援助して技術開発を行い、業界を発展させていくのでした。

おわりに

今井五介は先取の気持ちと創意に富み、発明心が強い人でした。昭和3年、片倉製絲紡績(株)大宮研究所を創設し、製絲部、再生絹絲等を開発する化学部、絹絲化工実験室、無音絹歯車、絹擬革(鞆・革靴等)を研究するシルクブロック部を置き、水産業用絹ロープの製造などを行い事業化しました。

五介は、このような技術開発だけでなく、社会の発展にも大いに力を発揮しました。明治42年(1908)5月には、松本商工会議所初代会頭となり、昭和16年(1941)までの34年間に亘ってその職に就きました。

その間、松本電燈株式会社取締役社長、信濃鉄道株式会社社長などに就任しインフラ整備に邁進するとともに、貴族院議員、財団法人大日本蚕糸会理事会頭などの役員として活躍しました。

恩賜賞

長野懸

正六位 今井五介

資性慧敏けいびんにして、豁達かつたつ明治十九年農商務省蠶病試験場を卒業するや米國に赴き商工業を視察し同二十三年帰朝専ら製絲業の經營あかに當り一族と共に片倉組を組織し銳意其發展を圖り大正九年組織を株式会社に改むるに際し副社長となり爾來じらい社長を補佐し同社今日の大を成さしめたり尚夙つとに蠶品種の改良を企て或は品評会を開催し或は蠶種の無償配布を行ひ或は有志と謀りて大日本一代交配蠶種普及團を設け優良交雜種の宣傳普及に努め以て蠶絲業の革新に寄與せる所多し又支那の蠶絲業に囑目しよくもくし屢々實地踏査の末同國に製絲工場を創設し或は蠶繭絲の輸入を企て又再三欧米を巡遊して彼我絹業者間の連絡親善を圖りたる等本邦蠶絲業の發達に資する所尠すくなからず大正七年以來貴族院議員に列し又帝國經濟會議を始め各種産業に關する委員に擧げらる更に主要蠶絲業團體だんたいの重職に推され克く獻替けんたいの任を竭つくせり其間數次蠶絲業界の危機に瀕するや毎に率先して時局收拾の衝に當り斯界の安定に務め又多年生絲取引の改善を力説し就中生絲正量取引及第三者格付検査の實現、蠶絲業組合法制定の促進、生絲新用途の開拓に或は絹洋服地の製織に將又其意匠考案等に對し日夜寢食を忘れ利害を超越して目的の達成に盡瘁しんすいせる等其蠶絲業上に貢獻せる功績寔に偉大なり仍て本會功績表彰規則に據り特に茲に恩賜賞を贈與し以て其功績を表彰す

大日本蠶絲會總裁大勲位功二級 載仁親王

大日本蚕糸会報 第 483 号（昭和七年五月）

恩賜賞 長野懸 正六位 今井五介

「カイコを育てよう！ 2023」

— 全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン —

人々にとって身近な存在であったカイコは、蚕糸業の衰退とともに目に触れる機会が少なくなっています。

こうした中で、各地の博物館で個別に行われている「カイコ、蚕種の配布」活動を横断的に連携し、かつて日本の産業を支えた蚕糸業を知ってもらうことを目的として、「カイコを育てよう！ 2023」を実施します。

キャンペーン特設サイト URL <https://silk-center.or.jp/kaiko2023/>

カイコも育てよう！

知って、学ぶ、絹のふしぎ。 2023



全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン

ワクワク楽しいイベントに、ぜひご参加ください。
全国の蚕糸関係博物館が
心を一つにして呼びかけます。



詳しくはこちら！

キャンペーン
特設ページ



**全国7つの施設でカイコまたは蚕種を配布。
賞品が当たるチャンスも！**

シルク博物館

申込受付：6月9日(金)～23日(金)
配布日：7月21日(金)・22日(土)・23日(日)
<https://www.silkcenter-ibkk.jp/museum/>

群馬県立日本絹の里

申込受付：6月28日(水)より
配布日：7月22日(土)・23日(日)
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>

岡谷蚕糸博物館

申込受付：お問い合わせください
配布日：7月22日(土)より
<https://silkfact.jp>

西予市野村シルク博物館

申込受付：お問い合わせください
配布日：7月14日(金)～17日(月・祝)
8月10日(木)～13日(日)
<https://www.city.seiyo.ehime.jp/miryoku/silkhakubutsukan/>

野外博物館 北海道開拓の村

申込受付：6月30日(金)より
配布日：7月29日(土)・30日(日)
<https://www.kaitaku.or.jp/>

駒ヶ根シルクミュージアム

申込受付：7月8日(土)～11日(火)
配布日：7月28日(金)～8月1日(火)
<https://komagane-silk.com>

ジャパンシルクセンター

申込受付：7月11日(火)～14日(金)
配布日：7月26日(水)・27日(木)
<https://silk-center.or.jp>

主催：「カイコを育てよう！2023」実行委員会／一般財団法人大日本蚕糸会 後援：蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会／全国シルクビジネス協議会

16 シルクレポート 2023.7

イベント情報

●ジャパンシルクセンター

「Silk×Joshibi ～夏めく絹物語～」

Silk×Joshibi

～夏めく絹物語～

2023年8月1日(火)～5日(土)

10:00～18:00(1日13:00～/5日～17:00)

貴重な純国産の絹糸を使用し、日本刺繍の魅力にあふれた
ブローチや帯留め、数寄屋袋、サコッシュ等の小物を販売します。
皆様のお越しをお待ちしております。

主催:提携グループ“絹を未来に”
会場:ジャパンシルクセンター

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4
蚕糸会館1階 TEL:03-3215-1212

ワンコインワークショップ

「日本刺繍の糸撚り体験」

草木染巾着付

オリジナルの糸を作ってみませんか♪

¥500(税込)所要時間:5～10分



●岡谷蚕糸博物館 企画展

「日本茜・日本紫根 染織三人展」

紫根・茜は万葉集の時代から日本の色として染められてきました。本企画展はきものジャーナリスト中谷比佐子氏にプロデュースいただき、紫根・茜の生産地から、その色を絹に染め、作品にしていく3人の作家の取り組みや作品を展示いたします。

◎会期中、ギャラリートークや絞り染め・墨流し染めのワークショップが開かれます。

詳細は、ホームページをご覧ください。か、お電話にてお問い合わせください。

〈会期〉 5月18日（木）～ 8月20日（日） 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈協力〉きものジャーナリスト 中谷比佐子、江戸古法染 高橋孝之、爪搔本綴 服部秀司、京絞り 寺田 豊

〈主催〉岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー

〈会場〉岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●岡谷蚕糸博物館 企画展

「人生の節目と絹に寄せる思い」

人の一生には入学や卒業、成人、結婚など多くの「節目」があります。

こうした「節目」の儀礼が行われる日に、普段とは違う特別な装いに身を包むことで、非日常を感じたり、次の段階へ進む思いを強く意識したりすることができます。このような特別な「節目」に着用する衣装から人々が衣装に込めた思いと、儀礼に寄せた思いを感じてみてください。

〈会期〉 8月24日（木）～ 11月19日（日） 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー

〈会場〉岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●日本絹の里 特別展
夏休み展 「学ぼうカイコ」

「ものがたり」をキーワードに、「カイコの一生の物語」、「繭から絹織物ができるまでの物語」などのテーマで様々な資料を紹介し、こどもから大人までどなたにも楽しみながらカイコやシルクの魅力に親しんでいただきます。期間中は展示館で沢山のカイコを飼育します。

〈会期〉 7月15日（土）～8月28日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展
「きものの彩り ～岡信孝銘仙コレクションより～」

日本画家の岡信孝画伯の古民芸コレクションを収蔵展示する須坂クラシック美術館（長野県）の協力により、大正から昭和のアンティーク着物を中心に古き美しき“もの”への想いをお伝えします。

〈会期〉 9月7日（木）～10月16日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館
夏休み企画「かいこ教室」＊小学生のためのプログラム

かいこの生態や体のつくり、まゆや生糸の特徴など、「かいこからシルクまで」を1日で楽しく学べます。各体験で完成させたワークシートや作品は、夏休みの自由研究にも使えます。

〈会期〉 7月29日（土）～8月13日（日） 9:30～17:00（入館は16:30まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉 シルク博物館

〈会場〉 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地シルクセンター2階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

◎シルク博物館では、毎週末ワークショップや実演（真綿づくり等）を行っています。

ワークショップの申し込みは電話による事前予約制（先着順）です。

詳細は、ホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。

★イベント開催報告

岡谷蚕糸博物館 ―シルクファクトおかや― 企画展

「信州の作家展 Part4 信州草木染友禅作家 木村不二雄の世界」

会期: 3月9日(木)～5月14日(日)

開催報告:

木村不二雄さんは長野県須坂市を拠点とし、自然由来の染料を使う信州独自の草木染友禅の継承者の一人です。

本企画展では、木村さんの草木染友禅と、ろうけつ染めの技法により制作された着物や帯のほか、絵画のように仕上げた作品などを展示いたしました。会期中のギャラリートークは、先生の友禅や、ろうけつ染めの技法の説明、作品の制作秘話が大変好評で皆さんに楽しんでいただきました。草木染教室は桜と林檎で岡谷産のシルクのハンカチやストールを染める体験をご指導いただき、お客様の好みの色に染めていました。

自然を愛し、自然とともにものづくりをしたいと、信州に移住し、草木染作家となった木村不二雄さん。植物や生物を大切にされ、草木染作品のもととなる精緻なスケッチや、染の設計図も展示していただきました。自然からいただく、優しい色を味わってもらいたい、という木村さんの想いが溢れる企画展となりました。

会期中には木村不二雄さんが挿絵を手がけられた絵本が出版され木村さんの作品に通じる優しい色合いと、生き物が図鑑のように登場するユニークさが好評で、多くの方が購入されました。

群馬県立日本絹の里 特別展(開館 25 周年記念展示)

「収藏品展 つむぐ・たくす・つなぐ」

会期:4月15日(土)～5月22日(月)

開催報告:

日本絹の里は、群馬県の伝統産業である蚕糸業の情報発信の拠点として、平成10年4月に開館し、購入・寄贈により養蚕・製糸・染・織といった様々な分野の資料を収蔵してきました。

本展では、過去5年間に収蔵した資料を中心にご紹介するとともに、今まであまり機会に恵まれず展示することが出来なかった資料、そして、群馬県のオリジナル蚕品種を使用した「ぐんまシルク」認定品も合わせてご紹介いたしました。

会期中には関連行事として4種の無料体験を行ったほか、4月21日(金)には関係者を招き、開館25周年記念式典を開催しました。

駒ヶ根シルクミュージアム

「2023 まゆクラフト作品展」

会期：4月20日(木)～5月23日(火)

開催報告：

全国の繭クラフト愛好家の応募作品を展示する作品展を開催しました。16回目となる今年の企画もご好評の中、閉幕しました。全国から42点の洗練された作品が寄せられました。年々、作品の技術が向上、作品のアイデアも多彩となっています。優秀作品には大日本蚕糸会会頭賞・長野県知事賞・駒ヶ根市長賞などが授与されました。

尚、応募作品の写真集を発刊しております(頒布価格 1,000 円)。まゆクラフトの取組みが、養蚕・繭作りの伝統・文化を伝承するとともに、新たな文化を創造することに、お役に立てればと考えています。

シルク博物館 春の企画展

シルク博物館所蔵品展「絹を彩る鳥たち」

会期：4月22日(土)～6月4日(日)

開催報告：

シルク博物館では、当館所蔵の絹を用いた染織品の中でも特に「鳥の模様」が表されたものに注目し、各時代の染織品を選びすぐり展示紹介する企画展「絹を彩る鳥たち」を開催しました。

鳥たちは近代まではおもに吉祥模様として表され、現代になると個々の作家の手により時に写実的に、またある時は抽象的に、自由に表現されています。本展では、江戸時代後期の小袖や大正時代の婚礼衣装、人間国宝作家による作品等を通し、さまざまな技巧をこらして表現された、色とりどりの素晴らしい鳥の世界をお楽しみいただきました。

令和5年度貞明皇后研究助成採択一覧(7件)

貞明皇后研究助成とは？

本会は、蚕糸絹に関する科学技術の研究及び発明並びにその応用を助長し、蚕糸絹文化の継承と蚕糸絹業の改良発達に寄与することを目的として、本会の総裁であられた貞明皇后の御名を冠した研究助成を毎年度行っています。

今年度は、下記の7課題について採択をしました。(助成総額 9,888,000 円)

研究題目 及び 研究概要 (申請時)	研究代表者	助成金額
① 未分解フィブロイン水溶液の濃縮および保存方法の確立	福井大学 准教授 鈴木 悠	1,500 千円
家蚕シルクを用いた材料開発において、フィブロインの溶剤としてフッ素系溶媒が頻用されているが、環境負荷が高く高価であるという問題点がある。申請者は最近、未分解フィブロイン水溶液を用いることで、環境負荷が低く、機械的特性および生体適合性に優れたフィブロイン材料の開発に成功した。本研究では、未分解フィブロイン水溶液から作製する材料のさらなる高物性化および生産効率の向上を目的として、未分解フィブロイン水溶液の濃縮および長期保存方法を検討する。		
② 食用カイコパウダーの無臭化に向けた匂い科学研究	信州大学 特任准教授 上原 裕史	1,500 千円
カイコ由来成分には血糖値の上昇を抑制する効果や腸内環境に作用する効果などを有することが知られており、このことはカイコが食原料として唯一無二の高いポテンシャルをもつことを示している。しかしながら、カイコが食原料として受け入れられるためには独特の生臭い風味が課題となる。本研究ではカイコの生臭い匂い成分を同定し、ヒトの嗅覚受容体への作用機構を解析し、安全で衛生的な抑制物質の探索・同定を通して食用に適した無臭カイコとパウダーの作出を試みる。		
③ 未分化幹細胞培養に適した新規セリシン繭素材の開発	京都工芸繊維大学 教授 小谷 英治	1,500 千円
最新育種技術により、セリシンだけでできた特殊な繭(セリシン繭)を生産するカイコを創出した。セリシン繭からしか調製できない未分解セリシンは、希少成分であり、細胞工学で利用できる安価なバイオマテリアルとなり得る。本研究では、細胞増殖因子含有セリシンを用いたマウス胚性幹細胞の増殖調節機能を検証する。こうした検討により、未分化幹細胞培養に適したセリシンの特性を活用する新バイオメディカル技術創成に貢献する。		

④ クワコの蛹期間長期化能力の解明と新規 蚕品種および利用技術開発への応用	山口大学 教授 小林 淳	1,448 千円
申請者が 18 年間選抜・維持してきたクワコとカイコの雑種系統（蛹期間は最長 200 日以上）の蛹期間長期化の主要原因遺伝子の一つが座乗すると推定される第 11 染色体上の染色体を網羅的に探索し、同定を試みるとともに、雑種系統における蛹期間不均一化に対するエピジェネティック制御の関与を阻害剤を用いて検証し、得られた知見を長期かつ均一な蛹期間を有する新規実用蚕品種の DNA マーカー育種ならびに多様な用途の創出に役立てる。		
⑤ カイコ精巢の超低温保存を可能にするガ ラス化液の検討	農業・食品産業技術総合研究機構 主任研究員 福森 寿善	1,500 千円
カイコの長期保存は、数多くのカイコ品種を安全かつ確実に維持するために必要である。雄側生殖質の保存方法として幼虫の精巢を超低温保存できる可能性がある。しかし、精巢保存は有効性が非常に低いという問題点がある。申請者は、精巢のガラス化処理に適した操作方法を明らかにし、ガラス化処理が有効である可能性を示した。本研究ではカイコ精巢のガラス化処理に最適なガラス化液組成および処理時間等の条件を検討する。加えて、最適化したガラス化処理条件がカイコの系統に関わらず汎用性を示すか否かを確認する。		
⑥ 高強度系統カイコ繭糸を用いた和楽器用 絹絃の開発	農業・食品産業技術総合研究機構 上級研究員 伊賀 正年	970 千円
和楽器の伝統的な絃は絹糸を原料とする絹絃であるが、摩擦等により演奏中に切れる頻度が高く、切れにくい絹絃の開発が待ち望まれている。そこで本研究では、これまでに育種した繭糸強度に優れる高強度系統 MC502 と同等の力学特性を有し、かつ生糸収率が改善された高強度系統交雑第一代の「日 137 号×MC502」を用いて絹絃を作製し、官能試験と機能性試験を実施する。優れた音色と耐久性を兼ね備えた絹絃の開発により、伝統音楽の保存と継承に貢献するとともに、シルクの需要拡大を目指す。		
⑦ 国産シルクとスーパー繊維を交織した新 規清涼衣料の開発	福島県ハイテクプラザ 専門研究員 東瀬 慎	1,470 千円
衣料分野では、近年社会問題化している熱中症対策に有効な吸放湿性と排熱性（接触冷感性）を具備した新しい清涼衣料が広く求められている。本研究では、吸放湿性に優れる絹素材と高い排熱性を持つスーパー繊維を交織し、砧（きぬた）打ちの古来技術を応用した加工技術により新規の清涼衣料の開発を目指す。また製織上の課題（目寄せ・スリップ）の解決と、意匠性と機能性の発現条件の関係を明らかにする。これにより福島ゆかりの蚕品種による絹織物の新用途を創出し、蚕糸絹業の再興を図る。		

貞明皇后研究助成の応募方法等の詳細は、本会ホームページの「貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成」を参照してください。

■次回 令和6年度 貞明皇后研究助成 年間スケジュール（予定）

募 集 期 間	令和5年12月1日～令和6年1月31日
選 考	令和6年4月下旬 蚕糸褒賞等選考委員会にて選考
助 成 決 定 の 通 知	令和6年5月上旬
研 究 助 成 実 施 期 間	令和6年5月1日～令和7年2月28日
助 成 金 の 支 払 い	令和6年5月下旬
実績報告書の提出締切	令和7年3月1日
助 成 金 額 の 確 定 作 業	令和7年3月上旬～中旬
研 究 成 果 報 告	令和7年4月下旬 完了報告動画の提出（本会ホームページに掲載します。）

2023 年度第 1 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2023 年度第 1 次審査委員会を 2023 年 5 月 23 日（火）に開催しました。今回の申請は 6 者で、新規申請者 2 者 10 品目、使用許諾されている 4 者のうち履歴の追加 3 者 5 品目、数量の追加 1 者 2 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、6 者 17 品目に対し、5 月 30 日（火）付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(新規) U G A A I 代表者名：安田愛 (担当者：安田愛) 〒 155-0033 東京都世田谷区代田 3-27-26 コルヌスツリーハウス 203 TEL：090-1800-4729 表示者登録番号 250	服地（プリーツ） (40cm 巾× 59.8m)	1 巻	繭生産 JA 上伊那・西予市管内養蚕農家 製 系 (株) 宮坂製糸所、 製 織 (株) 野村町地域振興センター (有) 大原織物
	服地 (ゆるストライプ柄) (125cm 巾× 33.2m)	1 巻	繭生産 JA 上伊那・西予市管内養蚕農家 製 系 (株) 宮坂製糸所、 製 織 (株) 野村町地域振興センター (有) 大原織物
	服地 (縦ストライプ柄) (126cm 巾× 35.0m)	1 巻	繭生産 JA 上伊那・西予市管内養蚕農家 製 系 (株) 宮坂製糸所、 製 織 (株) 野村町地域振興センター (有) 大原織物
	服地（鳳凰柄） (126cm 巾× 34.0m)	1 巻	繭生産 JA 上伊那・西予市管内養蚕農家 製 系 (株) 宮坂製糸所、 製 織 (株) 野村町地域振興センター (有) 大原織物
	服地 (U G A A I ロゴ生地) (126cm 巾× 25.2m)	1 巻	繭生産 JA 上伊那・西予市管内養蚕農家 製 系 (株) 宮坂製糸所、 製 織 (株) 野村町地域振興センター (有) 大原織物
	服地（縦ウェーブ柄） (120cm 巾× 33.7m)	1 巻	繭生産 JA 上伊那・西予市管内養蚕農家 製 系 (株) 宮坂製糸所、 製 織 (株) 野村町地域振興センター (有) 大原織物
	服地（27/2 平織り） (128cm 巾× 29.3m)	1 巻	繭生産 JA 上伊那・西予市管内養蚕農家 製 系 (株) 宮坂製糸所、 製 織 (株) 野村町地域振興センター (有) 大原織物
	服地（27/3 平織り） (128cm 巾× 25.5m)	1 巻	繭生産 JA 上伊那・西予市管内養蚕農家 製 系 (株) 宮坂製糸所、 製 織 (株) 野村町地域振興センター (有) 大原織物

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(新規) 石川県立津幡高等学校 代表者名：釜田渉 (担当者：大丸孝斉) 〒929-0325 石川県河北郡津幡町字加賀爪ヲ45番地 TEL：0726-289-4111 表示者登録番号 251	白生地（牛首紬）	1反	蚕品種 玉小石 繭生産 石川県立津幡高等学校 製 糸 くらしつむぐあとリエ 撚糸・精練 加藤手織牛首つむぎ 製 織 くらしつむぐあとリエ
	白生地 (帯地（牛首紬）)	1本	蚕品種 玉小石 繭生産 石川県立津幡高等学校 製 糸 くらしつむぐあとリエ 撚糸・精練 加藤手織牛首つむぎ 製 織 くらしつむぐあとリエ
(履歴の追加) 那覇伝統織物事業協同組合 代表者名：赤嶺真澄 (担当者：栗国美那子) 〒903-0812 沖縄県那覇市首里当蔵町2-16 首里染織館 suikara3F TEL：098-887-2746 表示者登録番号 156	先染反物（首里織）	57反	蚕品種 ぐんま200 繭生産 JA前橋市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸（株） 染 織 自組合
	先染反物（首里織）	197本	蚕品種 ぐんま200 繭生産 JA前橋市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸（株） 染 織 自組合
	かりゆしウェア (首里織)	40枚	蚕品種 ぐんま200 繭生産 JA前橋市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸（株） 染 織 自組合
(履歴の追加) 渡豊工房 代表者名：渡辺豊一 (担当者：渡辺豊一) 〒990-0301 山形県東村山郡山辺町大字山辺892-1 TEL：023-664-5405 表示者登録番号 190	先染反物 (綾御召（男物）)	34反	蚕品種 春嶺×鐘月 繭生産 JAなすの管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸（株） 撚糸 梅津撚糸工場 精練染色 佐米染色（有） 製 織 自工房

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(履歴の追加) (株) 高島織物 代表者名：中須賀賢一 (担当者：北村光祥) 〒 603-8225 京都市北区紫野南舟岡町 5 番地 TEL：075-431-0111 表示者登録番号 248	白生地（表地）	20 反	蚕品種 繭生産 製 糸 製 織 精 練 錦秋×鐘和 JA おやま・JA なす南・ JA なすの管内養蚕農家 碓氷製糸（株） 村井機業場 丹後織物工業組合
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：大西隆寿) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物（振袖）	1 反	繭生産 製 糸 製 織 染色加工 JA なす南管内養蚕農家 松岡（株） 篠春織物（株） （株）千總
	後染反物（振袖）	3 反	繭生産 製 糸 製 織 染色加工 JA なす南管内養蚕農家 松岡（株） （株）竹林 （株）千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。

純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2023 年度第 2 次：2023 年 8 月 29 日（火）

純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2023 年 7 月 25 日（火）

(連絡先)

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

一般財団法人 大日本蚕糸会

担当：岡島、小林

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3415

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

小林：kobaei@silk.or.jp

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2023年5月30日（2023－第1次）現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物（振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服）、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物（色無地）、胴裏（灰汁浸け加工）
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物（色無地、黒紋付）
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物（色無地、黒紋付）
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物（色無地、黒紋付）
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物（色無地、黒紋付）
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物（作家作品）、後染帯地、先染反物（大島紬、結城紬、御召、作家作品）、先染帯地（織九寸帯、織角帯、作家作品）、白生地、和装小物（帯締、羽織紐）、八掛、胴裏
012	河瀬満織物（株）	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物（色無地、黒紋付）
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物（色無地）
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地、白生地（表地）
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物（色無地、黒紋付）
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢（株）)	群馬県高崎市	裏地（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200、灰汁浸加工、トルマリン加工）、八掛、比翼地）、長襦袢地、後染反物（作家作品、紋付地）、白生地（世紀二一、上州絹星・ぐんま 200、新小石丸）、後染帯地（（冬物・夏物）：うるし糸が5%を超えるもの）、寝衣（うぶ着、おくるみ）、和装小物（袱紗）
022	宮階織物（株）	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物（色無地、訪問着）、先染帯地（袋帯（草木染、唐織））
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物（有）	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地（袋帯、名古屋帯、袋帯：金銀糸が5%を超えるもの）、先染反物（御召類、着尺）、後染反物（色無地）
027	(有) 織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウォーマー、腹巻、手袋、靴下））
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物（江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖）、後染帯地、白生地（表地）
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物（色無地、黒紋付）
030	(株) 高島屋	大阪市中央区	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、白生地（長襦袢地、胴裏）、ニット（靴下）、風呂敷
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榊屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、服飾品 (ストール)
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒紬))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚げ)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚)
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩 グループ)	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)、白生地
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) 綾の手 (旧 (株) あきやま)	宮崎県綾町	先染反物 (綾の手紬)、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井紋 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着、紋意匠))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)、ショール (牛首紬)、先染反物 (飯田紬)、白生地着尺 (信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚げ、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー (手織り)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、パジャマ、袱紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、服飾品 (ショール)
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、服飾品 (スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー)
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗)、ネクタイ、帯地 (白塩瀬)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福紬織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)、服飾品 (ショール)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))、ニット (靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、服飾品 (ストール)
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (絰着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織、裏地 (紬八掛、駒八掛、紬駒八掛、紬綾八掛))、服飾品 (先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染))
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嵯が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	服飾品 (ストール)、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬、御召)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 (12 マルキ、15 マルキ))
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	服飾品 (ストール)
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大醐	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	服飾品 (ニットストール)
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷 (五条袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地 (紋意匠))
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物 (西陣お召)
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地 (表地 (紋意匠))
241	京都和装 (株)	京都市下京区	白生地 (表地 (紋意匠))
242	(株) 前田源商店	山梨県富士吉田市	服飾品 (スカーフ、ストール)
243	近江真綿工房 原田	滋賀県米原市	寝具寝装品 (真綿ふとん (国産近江真綿ふとん))
244	昭和西川 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (真綿ふとん)
245	大迫織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
246	玉城柳子	沖縄県南城市	先染反物(着尺(首里織))、先染帯地(首里織)
247	丸八生糸(株)	京都市上京区	白生地(表地)
248	(株)高島織物	京都市北区	白生地(表地)
249	くらしつむぐあとりえ	福井県坂井市	白生地(表地、帯地)、服飾品(ストール)
250	UGAA I	東京都世田谷区	洋装服地
251	石川県立津幡高等学校	石川県河北郡	白生地(牛首紬)、白生地(帯地(牛首紬))

一般財団法人大日本蚕糸会活動日誌 No. 78 (R5.4.1 ~ 6.30)

月日	活 動 内 容 等
4/17	蚕糸褒賞等選考委員会 研究助成選考部会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
4/19	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 幹事・監事会 (WEB 会議)
5/8	第 1 回シルクの普及検討会及びシルクの機能調査検討会 (全国シルクビジネス協議会の農林水産省補助事業関係) (東京都有楽町 蚕糸会館)
5/12	第 1 回蚕糸絹提携自立化支援事業審査会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
5/17	第 1 回オーガニックシルク検討会 (全国シルクビジネス協議会の農林水産省補助事業関係) (東京都有楽町 蚕糸会館)
5/23	純国産絹マーク審査会 (2023 年度 第 1 次) (東京都有楽町 蚕糸会館)
5/25	蚕糸褒賞等選考委員会 (受賞者の選考) (東京都有楽町 蚕糸会館)
6/6	大日本蚕糸会通常理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
6/21	大日本蚕糸会定時評議員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
野外博物館北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいてステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館“紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064
桑都日本遺産センター 八王子博物館	192-0904	東京都八王子市子安町 4-7-1 サザンスカイタワー 3 階	042-622-8939

名 称	〒	住 所	電 話
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市緑区田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
相模原市立博物館	252-0221	神奈川県相模原市中央区高根 3-1-15	042-750-8030
海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」	243-0405	神奈川県海老名市国分南 1-6-36	046-233-4028
一般財団法人繊維産業会レインボープラザ(愛川繊維会館)	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 4410	046-281-0356
愛川町郷土資料館	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 5287 (県立あいかわ公園内)	046-280-1050
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館(織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房(織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館(絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業(株)内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号(上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ(株)内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館(松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静市市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財)手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884

名 称	〒	住 所	電 話
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ（株）周辺敷地内	0773-43-1050
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業（株）内	0772-72-0307
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502
アヤミハビル館	907-1801	沖縄県八重山郡与那国町与那国 2114	0980-87-2440

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一財) 大日本蚕糸会
(一財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(一社) 日本絹人繊維物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<http://www.tanko.or.jp>
<http://www.nishijin.or.jp>
<http://www.tafs.or.jp>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougeihin.jp>
<http://takaraginu.com>

【大学・試験研究機関】

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 <http://www.naro.affrc.go.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 <http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html>
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース応用昆虫学研究室 <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/departement2/agri/life.html>
(国) 宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 <http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/>
(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室 <http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室 <http://www.tuat.ac.jp/~kaiko>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科 <http://www.tuat.ac.jp/~seimei>
(国) 名古屋大学農学部 <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 信州大学繊維学部 <http://www.tex.shinshu-u.ac.jp>
(国) 京都工芸繊維大学工学部応用生物学課程 <http://www.bio.kit.ac.jp>
(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 <http://muses.muses.tottori-u.ac.jp>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(国) 九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku>
(国) 九州大学大学院農学研究院遺伝子資源開発研究センター家蚕遺伝子開発分野 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sanshi/insect/top.html>
群馬県蚕糸技術センター <http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
群馬県繊維工業試験場 <http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html>
京都府繊維・機械金属振興センター <http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
(地独) 京都市産業技術研究所 <http://www.tc-kyoto.or.jp>
(公財) 衣笠繊維研究所 <http://krf-textile.com>
(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 <http://www.silk.or.jp>

【学 会】

日本シルク学会
(一社) 日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://jsst.sakura.ne.jp>
<http://jsss.or.jp>
<http://jswsmo.appspot.com>

【博物館】

(一財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>
<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>
<http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum>
<http://www.tuat.ac.jp/~museum>

【博物館】

駒ヶ根シルクミュージアム
織成館（京都市上京区）
高崎市染料植物園
群馬県立歴史博物館
岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）
はたや記念館ゆめおーれ勝山
美馬蚕糸館
北海道開拓の村

<http://komagane-silk.com/>
<http://orinasukan.skr.jp>
<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/201401140097>
<http://grekisi.pref.gunma.jp>
<http://silkfact.jp>
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>
<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>
<https://www.kaitaku.or.jp>

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場
群馬県立世界遺産センター
ぐんま絹遺産
上毛新聞社関連記事

<http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>
<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>
<http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan>
http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk_index.html

統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	44
(2) 養蚕農家数の推移	45
(3) 繭生産数量の推移	46
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	47
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	48
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	49
(12) 製糸工場の操業状況	50
(13) 生糸在庫数量の内訳	51
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	
(18) 絹織物生産数量	52
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	53

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	55
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	56

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 Item 暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	1,214
2021	186	61	328	0.2	7	20	—	1,279
2022	163	51	313	0.2	7	22	—	—
前年比(%) 2022/2021	87.6	83.6	95.4	100.0	100.0	110.0	—	—

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織織物工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)

・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)

・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)

(Unit: number)

項 目 年 間 春 蚕 初秋蚕 晩秋蚕 暦 年 Item Annual total Spring silk-worm Early autumn silk-worm Late autumn silk-worm				
2000	3,280	2,970	2,170	2,700
2005	1,591	1,420	1,061	1,345
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
2019	264	233	153	224
2020	228	205	129	188
2021	186	161	98	156
2022	163	146	89	142
前年比(%)				
2022/2021	87.6	90.7	90.8	91.0

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項目 Item 暦年 Calendar Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	348	150	144	156
2020	80	31	19	30	351	151	147	160
2021	61	22	15	24	328	137	153	154
2022	51	20	13	18	313	137	146	127
前年比 (%) 2022/2021	83.6	91.4	86.2	75.0	95.4	99.8	95.4	82.5
2022年 構成比 (%)	100.0	39.5	24.7	35.9				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	0	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2021	160	3,067	0	3,425	868	6,136	144	2,753	3,850
2022	168	3,646	1	3,754	927	7,945	182	2,803	3,726
2021 - 1	11	123	0	141	1,059	428	6	273	286
2	14	118	0	175	1,016	504	4	199	299
3	16	371	0	414	989	339	7	223	379
4	12	5	0	121	885	451	5	253	363
5	12	506	0	479	924	460	20	202	351
6	13	178	0	200	915	619	13	251	377
7	13	266	0	303	891	772	12	242	281
8	12	244	0	234	913	585	9	188	198
9	12	389	0	470	844	433	9	251	231
10	14	219	0	236	841	451	14	216	390
11	18	323	0	313	869	480	21	231	306
12	13	322	0	336	868	614	24	218	390
2022 - 1	12	379	0	436	823	588	2	264	233
2	8	222	0	199	854	484	32	162	316
3	19	541	0	481	933	667	33	178	348
4	15	—	1	159	788	412	30	214	355
5	13	500	0	476	825	857	7	256	326
6	15	426	0	313	953	703	7	256	355
7	12	291	0	333	923	893	19	227	330
8	16	473	0	411	1,001	764	17	224	290
9	16	149	0	222	944	688	10	248	283
10	14	187	0	347	798	642	4	262	323
11	12	297	0	227	880	739	9	287	310
12	16	180	0	149	927	509	11	226	258
2023 - 1	13	271	0	345	866	650	10	209	182
2	10	179	0	270	785	309	10	118	285
3	14	295	0	272	822	705	15	221	316
4	—	—	0	—	—	514	9	222	292

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局（～2010.3） 中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）

中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）(B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量 + (A) + (B)} - {(C) + (E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

3. (D) と (E) は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4～2012.11)、

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③			
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
2021	175	45	0	130	3	6	6	115	130	24	0	0	8	16	106	45
2022	173	45	0	128	4	8	6	110	128	22	0	0	8	14	106	45
前年比 (%) 2022/ 2021	99	100	—	98	119	129	103	96	98	92	—	—	100	87	100	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(11)製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills (単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2020		72	73	69
2021		55	57	67
2022		46	59	54
2021 -	1	0	4	65
	2	0	4	60
	3	0	5	54
	4	0	4	50
	5	0	4	46
	6	14	5	55
	7	6	5	56
	8	10	5	61
	9	3	5	59
	10	19	5	73
	11	4	7	70
	12	1	4	67
2022 -	1	0	4	62
	2	1	3	60
	3	0	7	53
	4	0	5	48
	5	1	5	44
	6	10	5	49
	7	8	5	52
	8	7	5	54
	9	1	6	49
	10	18	5	62
	11	1	4	59
	12	0	5	54
2023 -	1	0	4	49
	2	0	4	44
	3	2	5	41

資料：農林水産省生産局（～2010. 3）中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010. 4～2012. 11）

中央蚕糸協会（2012. 12～2018. 10）（一財）大日本蚕糸会（2018. 11～）

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010. 3）.

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010. 4～2012. 11）.

Central Raw Silk Association（2012. 12～2018. 10）. The Dainippon Silk Foundation（2018. 11～）

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況 Activities of Reeling Mills

項 目 Item 年 月 Year & Month	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
		運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year						
2015	8	110	33	30	263	53
2016	8	110	29	26	267	55
2017	8	110	31	28	266	59
2018	8	74	34	46	253	57
2019	8	74	27	36	239	51
2020	8	74	23	31	218	48
2021	7	74	15	20	214	43
2022	7	64	14	22	230	41
2021 - 1	6	74	16	22	14	38
2	6	74	21	28	14	38
3	6	74	21	28	18	35
4	6	74	15	20	16	35
5	6	74	13	18	15	35
6	7	74	12	16	22	37
7	7	74	12	16	22	37
8	7	74	7	9	17	37
9	7	74	12	16	18	43
10	7	74	12	16	22	44
11	7	74	18	24	17	43
12	7	74	16	22	19	43
2022 - 1	6	74	10	14	15	35
2	6	74	14	19	14	35
3	6	74	17	23	23	35
4	6	74	19	26	19	35
5	6	74	16	22	17	34
6	6	74	12	16	21	34
7	6	74	13	18	22	36
8	6	74	13	18	18	33
9	7	44	18	41	21	41
10	7	44	13	30	21	40
11	7	44	12	27	19	40
12	7	44	14	32	20	41
2023 - 1	7	44	15	34	16	42
2	7	44	16	36	17	40
3	7	44	17	39	21	42

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks：1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳 Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位 : 60kg俵)
(Unit : Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers
暦 年 Calendar Year					
	2015	1,410	94	1,316	
	2016	1,406	130	1,276	
	2017	1,747	156	1,591	
	2018	1,330	230	1,100	
	2019	1,429	238	1,191	
	2020	1,066	178	888	
	2021	868	170	698	
	2022	927	127	800	
2021 -	1	1,059	182	877	
	2	1,016	183	833	
	3	989	189	800	
	4	885	183	702	
	5	924	186	738	
	6	915	186	729	
	7	891	184	707	
	8	913	185	728	
	9	844	182	662	
	10	841	174	667	
	11	869	175	694	
	12	868	170	698	
2022 -	1	823	163	660	
	2	854	160	694	
	3	933	163	770	
	4	788	160	628	
	5	825	155	670	
	6	953	146	807	
	7	923	131	792	
	8	1,001	134	867	
	9	944	135	809	
	10	798	134	664	
	11	880	125	755	
	12	927	127	800	
2023 -	1	866	129	737	
	2	785	125	660	
	3	822	131	691	

資料 : 農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10).The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)
(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics 年 月 Year & Month	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
暦 年 Calendar Year									
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020	1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2021	1,279	839	586	9	244	298	90	208	143
2021 - 1	90	56	38	1	18	25	9	16	9
2	95	59	40	1	18	26	10	16	9
3	98	57	43	1	13	30	10	19	12
4	106	64	50	0	13	29	11	17	14
5	109	71	48	1	22	27	11	16	11
6	123	79	51	0	28	29	11	18	14
7	109	69	52	1	16	29	10	19	10
8	97	58	46	0	12	27	10	17	11
9	111	70	53	1	15	29	11	18	13
10	118	75	54	1	20	28	11	17	14
11	131	89	54	1	34	29	11	18	13
12	133	93	57	1	35	29	11	17	11
2022 - 1	104	71	51	0	19	22	7	15	12
2	124	90	61	0	29	22	6	16	12
3	124	87	66	0	21	24	6	18	13
4	126	87	70	0	17	25	6	19	15
5	123	89	64	0	25	23	5	18	11
6	145	105	76	0	29	24	6	18	16
7	121	82	65	0	18	24	7	17	15
8	112	78	63	0	15	23	6	17	11
9	104	70	47	0	23	24	6	18	11
10	118	81	55	0	26	24	6	18	13
11	121	88	51	0	37	24	6	18	10
12	121	88	48	0	40	23	7	17	9
2023 - 1	106	75	52	0	23	23	7	16	8
2	99	65	45	0	20	23	6	17	12
3	104	63	48	0	15	25	7	18	16
4	112	73	54	0	19	25	7	18	14

資料：(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

備考：1. 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

2. 絹織物生産数量の数量は2018年～2022年分までデータ補正がある。

Source：Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks：1. Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

2. As for the production quantity of silk fabrics, data in the year between 2018 and 2022 have been corrected.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2021	1,279	105.4	153,627	99.5	12,321	113.5	303,511	116.6
2022			158,982	103.5	11,988	97.3	281,796	94.4
2021 - 1	90	73.3	9,930	65.5	773	61.4	19,619	80.4
2	95	77.5	11,810	54.2	910	53.3	20,969	81.0
3	98	74.7	11,526	64.0	1,129	63.0	26,690	92.8
4	106	87.5	14,265	77.6	755	64.4	25,705	129.1
5	109	125.0	11,586	91.5	952	142.3	24,566	215.7
6	123	141.4	13,201	141.6	870	126.1	29,082	136.5
7	109	123.2	14,672	172.0	938	259.8	24,811	133.7
8	97	136.0	10,040	140.5	1,072	174.9	24,161	147.8
9	111	131.0	13,545	135.3	1,092	242.1	24,360	118.8
10	118	130.9	15,194	145.5	1,038	160.9	26,324	107.9
11	131	130.3	13,557	117.7	1,463	167.4	26,748	108.5
12	133	123.2	14,301	126.2	1,329	214.7	29,272	120.9
2022 - 1	104	115.2	10,399	104.7	983	127.2	22,277	113.5
2	124	131.2	12,746	107.9	982	107.9	20,744	98.4
3	124	126.9	12,376	107.4	863	76.4	25,113	93.8
4	126	118.8	14,948	104.8	1,111	147.2	26,693	101.3
5	123	113.2	11,207	96.7	1,127	118.4	22,216	89.5
6	145	118.2	14,645	110.9	1,237	142.2	26,282	90.4
7	121	111.3	14,540	99.1	996	106.2	22,233	91.3
8	112	115.8	11,938	118.9	939	87.6	20,915	86.3
9	104	93.7	13,993	103.3	845	77.4	24,163	98.3
10	118	100.1	14,932	98.3	1,109	106.8	23,440	88.9
11	121	92.7	13,737	101.3	961	65.7	23,932	89.5
12	121	91.2	13,521	94.5	835	62.8	22,127	91.4
2023 - 1	106	102.1	9,451	90.9	1,011	102.8	24,615	110.5
2	99	80.0	12,892	101.1	836	85.1	19,786	93.6
3	104	83.6	11,963	96.7	901	104.4	24,475	97.5
4	112	88.8	13,330	89.2	878	79.0	23,422	89.2
5			11,894	106.1	1,197	106.2		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計 (2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考 : 1. 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

2. 2018年～2022年分までデータ補正がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by their local unions.

Remarks : 1. Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

2. The data in the year between 2018 and 2022 have been corrected.

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

－資料・海外－

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2017年	2018年	2019年
		トン	トン	トン
日本	Japan	125	110	92
中国	China			
インド	India	161,684	185,560	185,143
ウズベキスタン	Uzbekistan			
イラン	Iran			
タイ	Thailand			
ブラジル	Brazil	2,995	3,024	3,034
ベトナム	Vietnam			
北朝鮮	North Korea			
トルコ	Turkey			
ブルガリア	Bulgaria			
インドネシア	Indonesia			
シリア	Syria			
主要国の計	Total	164,804	188,694	188,269

区 分		2020年	2021年	2022年
		トン	トン	トン
日本	Japan	80	62	51
中国	China			
インド	India	169,345	187,241	
ウズベキスタン	Uzbekistan			
イラン	Iran			
タイ	Thailand			
ブラジル	Brazil			
ベトナム	Vietnam			
北朝鮮	North Korea			
トルコ	Turkey			
ブルガリア	Bulgaria			
インドネシア	Indonesia			
シリア	Syria			
主要国の計	Total	169,425	187,303	51

注 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用し、2016年以降はデータが取れない。

Note Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).

Others than these countries,based on the data of International Sericulture , however, there is no data available since 2016 Commission (ISC).

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2023年2月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	138.75 ~ 150.50	2,636 ~ 2,860
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	152.00 ~ 172.50	2,888 ~ 3,278
3	玉繭(double cocoon)		112.00 ~ 130.00	2,128 ~ 2,470
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	137.75 ~ 169.75	2,617 ~ 3,225
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	435.75 ~ 455.75	8,279 ~ 8,659
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	442.00 ~ 462.25	8,398 ~ 8,783
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	438.75 ~ 456.50	8,336 ~ 8,674
8	玉糸(doupion silk)	110d	440.75 ~ 453.75	8,374 ~ 8,621
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	41.38 ~ 45.38	786 ~ 862
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	60.38 ~ 65.88	1,147 ~ 1,252
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	49.75 ~ 54.25	945 ~ 1,031
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	42.75 ~ 47.13	812 ~ 895

注:1元=19円

1CNY=19JPY

2023年3月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	140.40 ~ 143.00	2,668 ~ 2,717
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	154.60 ~ 171.00	2,937 ~ 3,249
3	玉繭(double cocoon)		113.70 ~ 131.70	2,160 ~ 2,502
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	143.60 ~ 177.40	2,728 ~ 3,371
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	435.00 ~ 455.60	8,265 ~ 8,656
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	440.80 ~ 463.40	8,375 ~ 8,805
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	439.60 ~ 457.60	8,352 ~ 8,694
8	玉糸(doupion silk)	110d	442.00 ~ 455.00	8,398 ~ 8,645
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	41.50 ~ 45.50	789 ~ 865
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	60.50 ~ 66.00	1,150 ~ 1,254
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.00 ~ 54.50	950 ~ 1,036
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	43.00 ~ 47.50	817 ~ 903

注:1元=19円

1CNY=19JPY

資 料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2023年4月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	139.00 ~ 143.00	2,641 ~ 2,717
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	153.00 ~ 169.50	2,907 ~ 3,221
3	玉繭(double cocoon)		114.00 ~ 132.00	2,166 ~ 2,508
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	148.00 ~ 179.00	2,812 ~ 3,401
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	433.00 ~ 453.50	8,227 ~ 8,617
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	438.00 ~ 461.00	8,322 ~ 8,759
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	434.50 ~ 453.50	8,256 ~ 8,617
8	玉糸(doupion silk)	110d	441.00 ~ 454.00	8,379 ~ 8,626
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	41.00 ~ 45.50	779 ~ 865
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	60.50 ~ 66.00	1,150 ~ 1,254
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.00 ~ 54.50	950 ~ 1036
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	43.00 ~ 47.50	817 ~ 903

注:1元=19円

1 CNY=19JPY

2023年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	138.60 ~ 145.00	2,772 ~ 2,900
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	153.00 ~ 168.40	3,060 ~ 3,368
3	玉繭(double cocoon)		114.00 ~ 132.00	2,280 ~ 2,640
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	144.00 ~ 179.00	2,880 ~ 3,580
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	425.60 ~ 452.20	8,512 ~ 9,044
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	435.60 ~ 460.00	8,712 ~ 9,200
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	436.80 ~ 452.00	8,736 ~ 9,040
8	玉糸(doupion silk)	110d	440.00 ~ 453.00	8,800 ~ 9,060
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.50 ~ 45.50	810 ~ 910
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	60.50 ~ 66.00	1,210 ~ 1,320
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	50.10 ~ 54.50	1002 ~ 1,090
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	43.00 ~ 47.50	860 ~ 950

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<https://silk.or.jp>

シルクレポート 2023 年 7 月号 No.78 令和 5 年 7 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3415

URL : <https://silk.or.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず